

総合相談窓口(ランチ)事業報告書 (平成 27 年 4 月～9 月)

総合相談窓口名称		地域総合相談窓口 日本橋地域在宅サービスステーション			
法人名		社会福祉法人 石井記念愛染園			
職員	氏名	資格	兼務の場合の業務内容	常勤換算	相談実務 経年数
	吉尾 寿子	主任介護支援専門員		1.0	8年3ヵ月
職員研修	開催日	参加者	研修内容		
	H27/5/14	吉尾 寿子	認知症初期集中支援推進事業にかかる関係者研修		
	H27/7/27	〃	平成 27 年度ランチ担当研修、ランチで行う総合相談について		
	H27/8/15・20、9/3	〃	コミュニティソーシャルワーカー養成研修会		
	H27/8/27	〃	H27 年度高齢者虐待対応初任者・総合相談窓口担当者研修		
地域包括支援 センターとの連 携・協働	実施状況及び自己評価(連携方法、状況など)				
	<p>包括・ランチ連絡会、定期地域ケア会議、運営協議会に出席し、情報共有を図り課題対応に取り組んだ。家族介護教室を協働で全 4 回の内 3 回開催し、家族介護者の心身のリフレッシュを図り在宅介護における意見交換等の機会を提供できた。福祉ふれあい広場実行委員会に出席し、ネットワーク構築を図れた。多職種連携会議や居宅介護支援事業者連絡会等に出席し、専門職との連携を図った。包括・ランチ新聞の発行と配付を行い、専門機関や地域住民に包括・ランチの機能と働きを周知できた。</p>				
総合相談業務	相談実人員	75 人	相談延べ件数	662 件	
	<p>実施状況及び自己評価(専門性の確保、地域との連携、多問題ケースへの対応など)</p> <p>総合相談窓口担当者研修、コミュニティソーシャルワーカー養成研修会、キャラバンメイト養成研修を受講し専門性の確保に努めた。問題行動のある認知症ケースについては、随時地域ケア会議を開催し問題解決に努めた。民生委員やネットワークサポーター、地域関係者と常に連絡を取りあって情報共有を行い、協働して問題解決に努めた。</p>				
実態把握業務	<p>実施状況及び自己評価(地域との関係づくり、実態把握後の状況)</p> <p>民生委員協議会や地域の高齢者食事サービス・ふれあい喫茶、いきいき百歳体操に参加して地域高齢者の実態把握と地域との関係づくりに努めた。地域からの情報提供に迅速に対応し戸別訪問を行い、問題解決に努めた。</p>				
権利擁護業務	<p>実施状況及び自己評価(地域及び関係機関との連携、その後の状況など)</p> <p>高齢者虐待の疑われるケースについて地域包括支援センターに報告を行い、事実確認を 10 月に行う予定。</p> <p>認知症のため金銭管理が困難な高齢者を成年後見制度につなぐため、区役所に働きかけている。</p>				
介護予防事業	<p>実施状況及び自己評価(開催状況、その後の状況など)</p> <p>介護二次予防対象者把握事業を開催しました。</p> <p>平成 27 年 6 月 23 日 (火) 14 時 00 分～15 時 00 分、新世界老人憩の家 1 階、参加者 20 名 パワーポイントにより介護予防の大切さを説明後、基本チェックリストを行ったが該当者は 0 人。</p>				

※既存の資料がある場合は、その資料を添付してください。

## 独自の活動について

事業名	地域のふれあい開発事業
事業概要 (内容、職員体制など)	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 地域の高齢者の閉じこもり予防のために、ふれあい喫茶や食事サービス、100 歳体操に誘い、地域住民と交流を持って頂いた。</li><li>2. 日本橋 5 丁目住宅 2 号棟集会所で地域女性の有志により、カレーサロン「あじさい」が立ち上がった。開設に向けての支援を行い、地域住民に周知・参加を促し関係づくりを行った。</li><li>3. 日本橋西住宅で喫茶サロンを立ち上げるため、実行委員会に参加している。</li></ol>

※既存の資料(概要が分かるものなど)がある場合は、その資料を添付してください。